5．1

特別活動全体計画

高知市立南海中学校

学校の教育目標

志を高く持ち，自他を尊び，なかまとともに歩む生徒を育成する

生徒の実態と課題

・素直であるが，自分本位の行動が見られ，集団の一員である自覚に欠ける面がある。

学校や地域の実態と課題

・経済的に不安定な家庭が多い。
・生活に追われ，生徒とかかわる時間を十分に確保できない家庭が多い。

保護者の願い

・自主的に学び，主体的に自らに応じた進路を切り開いてほしい。
・心豊かに育ってほしい。

家庭・地域等との連携

・南海あったか応援団による挨拶運動の実施
・南海立志塾への講師としての支援
・PTA 協力による学校行事の運営

時代や社会の要請や課題

・自主的，主体的に学び，さらに行動できる人材
・地域の構成員としての自覚と責任
・地域や家庭の教育力の再生

教職員の願い

・集団の一員として，集団を高めあう人間関係の育成
・自主的，主体的な態度の育成
・主体的な進路の選択と将来設計ができる態度の育成

特別活動の目標

望ましい集団活動を通して，心身の調和のとれた発達と個性の尊重を図り，集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的，実践的な態度を育てるとともに，人間としての生きかたについての自覚を深め，自己を生かす能力を養う。

学級活動の目標	生徒会活動の目標	学校行事の目標
学級活動を通して，望ましい人間関係を形成し，集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を育てる	生徒会活動を通して，望ましい人間関係を形成し，集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し，協力して諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度を育てる	学校行事を通して，望ましい人間関係を形成し，集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養い，協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育てる

本年度の特別活動の重点目標

・ 学校生活や社会における諸問題の解決や生活の向上に向けて，集団の一員として積極的にかかわり，他のために力を尽くそうとすることができる生徒の育成
・ 地域との協働に向けて，地域の一員として行動できる実践的な活動の充実

・各教科との関連
全教科における学びあい学習の充実

・道徳との関連
道徳的実践力の具体的な指導
体験活動を通した内容項目の指導の深化

・総合的な学習の時間との関連
「生命 ～生き抜く力の創造～」との連携

・その他の関連
人権教育的視点に立った指導の充実
開発的生徒指導との連携

各学年の指導の重点

1学年	2学年	3学年
集団の中の自分自身を見つめなおしたり，互いに認め合ったりするなかで自尊感情を育て，身の回りの不合理を見抜き，なかまと協力して解決していく力を育てる	地域の人権獲得の歴史に学びつつ，地域との出会いを通して自分と地域・社会とのかかわりに気づき，集団生活を高めるために今できることをする実践力を育てる	集団生活を通して，学級・学校に貢献しながら，なかまとともに自らの進路を切り開いていく力を育てつつ，社会における様々な人権課題等を解決していくための態度と実践力を育てる

項目	学級活動	生徒会活動	学校行事
重点目標	1 互いに学級集団を高めあう仲間として認め合い，よりよい学究生活を築くための意欲を育てる。 2 学級における身の回りの不合理を見抜き，差別やいじめを解決していける実践的態度を育てる。 3 人間としての生き方への自覚を深め，進路を切り開き，社会の諸課題の解決に努める態度を育てる	1 専門委員会を活性化し，よりよい学校生活づくりを通して，自主的・自治的な生徒集団を育てる。 2 校内及び地域のボランティア活動等に意欲的に参加し，社会貢献の精神を育てる。 3 全校生徒による様々な取組みを通して，よりよい校風づくりに尽力する意欲を育てる。	1 体育的行事，文化的行事を通して，学級・学校への所属感連帯感を高めつつ，異年齢集団による交流を深めて，一体感のある学校づくりに貢献できる態度を育てる。 2 儀式的行事を通じて，学校生活に有意義な変化や折り目をつけ，将来にわたる社会的マナーを育てる。
活動の内容	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 ア，イ，ウ (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア，イ，ウ，エ，オ (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア，イ，ウ ★第1学年の重点 (1)ア，イ (2)オ (3)ア ★第2学年の重点 (1)ア，イ (2)ウ，オ (3)イ ★第3学年の重点 (1)イ，ウ (2)ウ，オ (3)ウ	(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 ・委員会ごとの特色ある活動の企画，運営 ・校内の各種委員会活動，ボランティア活動 ・部活動で使用する施設設備，活動時間の調整等 各専門委員会の取組みの調整 (2)学校行事への協力 新入生対面式，体育祭・文化発表会の企画と運営 生徒総会，生徒会役員選挙，立志式,防災活動の日 (3)ボランティア活動などの社会参画 ・地域でのボランティア活動 ・地域清掃への参加・交流 ・地域の文化にかかわる参加・交流	(1)儀式的行事 始業式，入学式，終業式，立志式，卒業式，終了式,離任式 (2)文化的行事 新入生対面式，文化発表会 (3)健康安全・体育的行事 薬物乱用防止教室，交通安全教室，身体測定，健康診断，避難訓練，体育祭 (4)旅行・集団宿泊的行事 修学旅行 (5)勤労生産・奉仕的行事 職業に係る学習，ボランティア活動 ★ 体育祭，文化発表会は練習時間を確保し，地域に誇れる行事となるように活動を計画する ★ 職業に係る学習，修学旅行，集団宿泊訓練は，総合的な学習の時間と連携
本校の特色	・全教科等における学びあい学習の充実 ・人権教育における実践力の育成 ・総合的な学習の時間「生命～生き抜く力の創造～」との連携	・異年齢集団によるボランティア活動，避難訓練 ・各委員会の活動を活性化して,生徒会活動の充実を図る ・体育祭，文化発表会における生徒会の主体的運営	・総合的な学習の時間「生命～生き抜く力の創造～」，道徳の時間との関連を図った職場体験活動 ・きめ細かな国旗，国歌の指導 ・体育祭，文化発表会等における縦割り活動による中1ギャップの解消と連帯感の醸成
時間・組織	内容(1)：1年 20時間，2年 15時間，3年 10時間 内容(2)(3)：1年 15時間，2年 20時間，3年 25時間 ※自発的，自治的な活動の重視 ※1年は人間関係づくり，ガイダンスの時間を多くとる ※3年は進路指導の時間を多くとる ※朝，帰りの会のミニ学級会は時数には数えない	※生徒総会は年1回，各種の委員会は月1回の定例会のほか，適宜開催。 ※生徒会執行役員会は週 1 回開催。	1 年 12時間 2 年 18時間 3 年 18時間 修学旅行・立志式(第2学年)における事前学習と事後の発表会等は総合的な学習の時間とする。
評価と改善	学級活動(1)～(3)，生徒会活動，学校行事(1)～(5)を内容のまとまりとして「集団活動や生活への主体的な学習態度」「集団や社会の一員としての思考・判断・実践」「集団活動や生活についての知識・理解」の三つの評価の観点を設け，それらごとに評価規準を作成して評価する。		
	・事前から事後の活動までの過程で，生徒の変容を促す手だてを講じる。集団決定や自己決定をした内容の実践の成果と課題を自己評価や相互評価，教師による観察等で評価し，よりよい実践につなげる。	・適宜，生徒会役員会や各種の委員会が，全校生徒対象にアンケート調査を行い，活動の見通しと改善を図る。 ・評価結果を分析し，次なる取り組みに生かす。	・事後の感想文や発表会で活動の成果と課題を生徒が相互評価する。(評価活動の充実と活用) ・担当者が教師対象に企画から事後の事務処理に至るまでのアンケート調査を行い，結果を分析し，次なる取り組みに生かす。
	年度末の学校評価の評価項目に，特別活動の重点目標，各学年の指導の重点について記載する。また，全教員，保護者対象のアンケート調査を行い，評価結果を分析し，次なる取り組みに生かす。		